

< 富山で作られたミニ SL があった！ > 上埜安英氏

SL豆知識

○富山で作られた蒸気機関車の紹介

今回はちょっと特殊なSLを紹介します。それはB20形SLです。

国鉄の工場や機関区などで車両の入れ替えようとして製造されました。B20のBは動輪が2軸、20は運転整備重量が20トンということからついた名称といわれています。

昭和20年から21年にかけて15両製造されました。動輪径はC62の半分の860mmで、超ミニサイズのSLです。

戦中、戦後の物資不足の時代だったため、可能な限り資材を節約し、手軽に作ることを目的に設計されました。

また製造会社もこれまでの日立、三菱、日本車輛、汽車製造といった大きな会社ではなく、**15両の内10両は富山市にある立山重工業という小さな会社で製造されました。**

立山重工業は昭和9年の創立から昭和24年に倒産するまで15年間一貫して飽和式タンク形SLのみを468両製造したと言われていました。その多くが産業界向けで、森林鉄道、地方の中小鉄道向けにも生産していました。

国鉄に納入されたのはB20形が唯一のSLということになります。

戦後の動乱期を乗り越えることができずわずか15年で消えた会社ですが、このような会社が私の住んでいる富山市にあったという事は誇りに思います。

現在、京都鉄道博物館にB2010号機が動態保存されています。



< 絵本について > 経田博子氏

世界で一番古い絵本は、

チェコの教育者ヨハン・アモン・コメニウスが 1658 年に出版した子供向けの教科書『世界図絵』です。内容は世界百科事典に近いもので、子供を対象とした学習用の本。その後、18 世紀にイギリスで最初の児童書出版者ニューベリーによる出版物を経て、19 世紀半ばに絵と言葉を融合した現代絵本の形態が完成した。

それが今の礎としての最初の絵本と考えられている。

日本で一番古い絵本は、平安時代の絵巻物を起源とし、室町時代の奈良絵本、江戸時代の草双紙と歴史をたどることができる。また、絵手本のことを指して絵本と呼んだ例もある。特に江戸時代の赤本が、子供向けに作られた絵本といえる。

一番長く多く読まれている絵本

累計 100 万冊以上売れた絵本を集めた、全国書店ネットワーク e-hon 発行の『ミリオンぶっく』というものがあります。

この『ミリオンぶっく』は毎年、無料の小冊子として一部の本屋で配られています。

2022 年のベスト 3

1 位は今年もかわらず「いないいないばあ」でした！圧倒的！

700 万超えは本作のみとなっており、長く愛されていることがわかりますロングセラーながら昨年より 19 万部も増やして勢い衰えることなし。

いない いない ばあ 720 万部 松谷みよ子／文 瀬川康男／絵

しろくまちゃんのホットケーキ 343 万部 わかやまけん／作

だるまさんが 331 万部 かがくいひろし／作

絵本の中には、絵のない絵本や文字のない絵本もあります。

<富山大学について紹介したい豆知識> 木下晶氏

■ とやまの人々が育てた日本海側最大級の総合大学 富山大学

2023(令和5)年 創立150周年 本県教育の歴史と同一の出発点

富山の人々の求めや浄財から生まれた学校が学部群を構成しています。(〇印)

○新川県教習所	1873(明治6)年	教育学部
○共立富山薬学校	1894(明治27)年	薬学部
○旧制富山高等学校	1923(大正12)年	人文部、理学部
○高岡高等商業学校	1924(大正13)年	経済学部
・高岡工業専門学校	1944(昭和19)年	工学部
・富山大学に統合	1949(昭和24)年	
・富山医科薬科大学新設	1975(昭和50)年	医学部
・高岡短期大学開学	1986(昭和61)年	芸術文化学部
・全国初の3大学統合	2005(平成)年	

■ 富山の高等教養教育の出発点 旧制富山高等学校

1923年 岩瀬の豪商 馬場はるが現在の金額約150億円を県に寄付し創校

小泉八雲の貴重な蔵書「ヘルン文庫」を寄贈。優秀な教員・学生が集まる。

本年創校100周年

■ ヘルン文庫 小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の貴重な蔵書

ハーンのエピソードだった田部隆次と小泉家の縁から、実兄で旧制富山高等学校の初代校長を引き上げた南日恒太郎の決断によって、富山の貴重な財産となった。

富山大学ヒストリア ～大志のもとに、その歴史は始まった～ ※ 動画

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL81ldJF6ek7L48gxdx9H2eEv6Oc8yds0Z>



旧制富山高等学校 1924(大13)年 蓮町

◆ クイズ①の答え **B.遠い親戚** ◆

<小林虎三郎、森鷗外、星新一について(調査余滴)> 小松裕氏

好奇心にかられていろいろな本を読んでいると、意外な発見に驚くことがあります。皆さんはこの三人にどのようなつながりがあると思われますか。

私はフランス語をラジオ講座で数十年聞き続けていますが、全然上達しないため、フランス語に関わった人々がどのようにフランス語を勉強したのか気になり、評伝やエッセイを調べ始めました。

三人の中でフランス語を学んだのは森鷗外だけと思われませんが、小林虎三郎は長岡藩で「米百俵」を「国漢学校」設立のために使った人、星新一はSF作家として有名です。

実は、小林虎三郎の妹のゆきという人の子が小金井良精という解剖学者であり、その人に嫁いだのが森鷗外の妹喜美子です。良精と喜美子の子の精の夫となった人が星一という星製薬創業者で、一と精の子が星新一(親一)というわけです。

作家の高見順と永井荷風の関係も意外な発見でした。

私の講座では、このようなとるに足らない(それでも私にとっては驚いた)発見についてもお知らせしています。

◆ クイズ②の答え **本当** ◆

<人生を豊かに～富山の魅力など学ぶ(7回の講座)> 加賀谷氏

・富山県の配置販売業者には、登録販売者以外に薬剤師もいる。

配置販売業者の中に、法人と個人があり、それぞれ薬剤師、登録販売者、個人がおり、本県では法人に薬剤師さんがいらっしやいます。

◆ クイズ③の答え **肺** ◆

五行説は中医学の理論を支える自然観の一つで、森羅万象に起こる現象や 人体の組織器官、精神活動の変化を、五行を用いて説明しています。

秋の乾いた空気はバリアの機能を果たしている肺に大きな負担をかけます。

乾燥を防ぎ、潤いをつけながら、白い食材で肺を 養いましょう。
例えば 白胡麻、白キクラゲ、百合根、大根…

